

修士論文(要旨)

2013年1月

ポップカルチャーから始まる日本語学習
—中国における日本語学習者を対象に—

指導 齋藤伸子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

211J3014

趙 増

目次

| | |
|----------------------------------|------------------------|
| 第1章 はじめに..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 1.1 研究の背景 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 1.2 研究の目的 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 第2章 先行研究..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 2.1 ポップカルチャー | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 2.2 日本の大衆文化との接触と日本語学習に関する研究..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 2.3 本研究におけるリソースの分類..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 2.4 ライフストーリー研究..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 第3章 調査1..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 3.1 調査概要 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 3.2 調査分析 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 3.2.1 各種類のリソースに関する使用実態の結果..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 3.2.2 日本語学習のきっかけ | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 第4章 調査2..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.1 調査概要 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.2 調査結果..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.2.1 C1のストーリー | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.2.2 C2のストーリー | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.2.3 C3のストーリー | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 4.2.4 C4のストーリー | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 第5章 考察..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 5.1 メディアの変遷がもたらした影響..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 5.2 ポップカルチャーから日本語学習へ | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 5.3 日本語学習開始後のリソース利用..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 5.4 日本語学習の継続との関連..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 5.5 まとめ..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 第6章 まとめと今後の課題 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 6.1 まとめ..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 6.2 今後の課題 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |

謝辞

参考文献

資料

第1章 はじめに

稿者は日本のアニメと共に成長し、アニメの影響で日本語を勉強し始めた。インターネットの普及につれて、日本人と接触機会が乏しかった中国でも、日本と関わるリソースを簡単に手にいれることができるようになり、日本の文化や日本のアニメなどのポップカルチャーに興味や関心を抱いて、日本語を勉強し始める学習者が年々増えている。この時代の変化のもとに、日本語学習者の学習環境が大きく変わってきていることから、豊富なリソースと接することによる学習者の学習意識、学習内容、学習効果の変化について詳しく調査する必要があると思われる。また、日本語学習開始前後に、いろいろなリソースと接触するにつれて、学習者自身にはどのような変化があるか、自分の将来に日本語をどう位置づけているかも明らかにする必要があると考える。

本研究の目的は、1) 中国の大学で日本語を専攻とする学習者の日本語と関わるリソースの利用実態を把握すること；2) 日本のポップカルチャーが中国にいる日本語学習者に与える影響を考察することである。

第2章 先行研究

近年、アニメ・漫画などとの接触が、日本語学習への動機づけとして注目される。これについては、萩野（2007、2010）、熊野（2011）などが挙げられる。また、劉（2007）、徐（2010）、三國他（2011）は中国における日本語学習者を対象にし、日本のポップカルチャー視聴状況に関する調査を行った。田中他（1993）は学習リソースを人、物、社会的リソースの三つに分かれると述べている。一方、亀井他（2004）は情報のリソースとしてのメディアを活字、映像、音声、インターネット、人の5項目に分類した。インターネットの登場により、メディアの分類が難しくなったと思われるが、本研究ではメディアリソースという言葉を採用し、リソースを視聴覚メディアリソース、活字メディアリソース、学習メディアリソース、双方向メディアリソース4つのタイプに分けている。

第3章 調査1

第一段階の調査としてアンケート調査を行った。実施方法としては、中国の福建省にある大学の日本語専攻の2年生34名に電子メールでアンケートへの協力の依頼をした。アンケートが回収できた調査協力者は男性5名、女性17名、合計22名の20代の日本語学習者である。質問の内容は、日本語専攻の学習者の日本語と関わるリソースの利用実態、また日本語を勉強し始めたきっかけなどである。アンケートの分析方法としては、各種のリソースの使用実態に関して、リソースの入手方法、利用目的、勉強としての利用目的、また日本語学習のきっかけに分けて分析を行った。教室内外で、娯楽の目的であっても学習の目的であっても学習者が積極的に各種類のリソースを利用していることが分かった。また、娯楽のために利用した視聴覚メディアに、聞き取り練習、発音の練習という学習の目的が見られたことから、視聴が娯楽を学習に変えることが確認できた。日本語学習について

は、日本のアニメ、ドラマの視聴経験などが日本ポップカルチャーへの関心、また言語学習への関心を喚起し、日本語学習のきっかけとなることが分かった。

第4章 調査2

第二段階の調査としてはインタビュー調査を行った。インタビューは、学習者の日本語学習のきっかけ、日本語学習目的、日本語学習の方法を中心に尋ねる半構造化インタビューである。実施方法としては、インターネット電話を利用して中国にいる日本語を専攻する大学生4人、独学者2人に調査を依頼した。得られたインタビューの内容を文字化して、分析(6人中4人分)を行った。分析には、ライフストーリー法を用い、それぞれのストーリーをテーマに沿ってまとめた。

第5章 考察

考察では、調査2でまとめた4人のライフストーリーをもとに、日本のポップカルチャーがどのように彼らの人生とかかわってきたか、そしてどのように影響を与えたかを分析し考察した。協力者の語りから、アニメ、ドラマ、アイドルをはじめとする日本のポップカルチャーが、日本語学習のきっかけとなった経験、日本語学習の促進、日本語学習の継続、今後の人生の展望など、彼らの人生に深く影響を与える重要な役割を果たしていることが分かった。

第6章 まとめと今後の課題

本研究では、中国にいる日本語学習者を対象にして、日本のポップカルチャーから始まる日本語学習について考察を行った。多くの学習者はインターネットを介して、娯楽目的であっても学習目的であっても、さまざまなリソースの利用を通じて、【日本語学習の促進】という結果を得た。今後もリソースの実用が自律学習に結び付くかどうかを研究課題として、さらに深く研究し続けたいと思う。

主な参考文献

- 川崎タルつぶら (2010) 「トリニダード・トバゴにおける日本の大衆文化—日本語学習者へのインタビューにみる理想化された日本—」桜美林大学大学院言語教育研究科日本語教育専攻修士論文
- 熊野七絵 (2010) 「日本語学習者とアニメ・マンガ—聞き取り調査結果から見える現状とニーズ」『広島大学留学生センター紀要』20 pp. 89-103
- 国立国語研究所 (1995) 『日本語教育指導参考書 21 視聴覚教育の基礎』大蔵省印刷局
- 近藤裕美子・村中雅子 (2010) 「日本のポップカルチャー・ファンは潜在的日本語学習者といえるか」『国際交流基金日本語教育紀要』第6号 pp. 1-7
- 桜井厚・小林多寿子 (2005) 『ライフストーリー・インタビュー 質的研究入門』pp. 38-39 せりか書房
- 佐々木倫子 (2002) 「日本語教育で重視される文化概念」細川英雄編『ことばと文化を結ぶ 日本語教育』凡人社
- 鈴木洋子 (2011) 「ポップカルチャーから日本語学習へ」『武蔵野大学文学部紀要』12号 pp. 93-102
- 徐进 (2010) 「动画对中国日语学习者的影响研究」河南工业大学外国语言学及应用语言学硕士学位论文
- 田中望・斎藤里美 (1993) 『日本語教育の理論と実際』大修館書店
- 谷口美穂 (2010) 「日本語学習における学習リソースとしての視聴覚メディア—インタビューからみえた学習者と教師の視点のずれ—」桜美林大学大学院言語教育研究科日本語教育専攻修士論文
- 徳田治子 (2004) 「ライフストーリー・インタビュー」『質的心理学—創造的に活用するコツ』新曜社
- トムソン木下千尋 (1997) 「海外の日本語教育におけるリソースの活用」『世界の日本語教育』7号 独立行政法人国際交流基金 pp. 17-29
- 三國喜保子・谷口美穂・岩下智彦・川崎タルつぶら・張世襲・岩下尚希 (2011) 「日本語学習者のメディア利用の実態調査—教室内外での有効なメディア活用のために—」『桜美林言語教育論叢』桜美林大学大学院言語教育研究所 第7号 pp. 147-162
- やまだようこ (2002) 『人生を物語る：生成のライフストーリー』ミネルヴァ書房
- 羅曉勤 (2005) 「ライフストーリー・インタビューによる外国語学習動機に関する一考察—台湾における日本語学習者を対象に—」『外国語研究』8 pp. 38-54
- 劉玲 (2007) 「教室の外の日本語学習に関する調査研究—アンケート調査を通してみるドラマ視聴の場合—」『応用言語学研究論集』1 pp. 19-41